

愛知県レクリエーション協会

報告者

愛知県レクリエーション協会
阿部弘子

参加者

	50代以下	60代	70代以上	計
男性	2	8	9	19
女性	2	22	6	30

日程・会場

	内 容	日 時	会 場	
第1回	オリエンテーションとアイスブレイキング	10月27日(土) 10:00~12:00	あイトピア多目的ホール (豊橋市総合福祉センター)	
第2回	レクリエーション・ゲームとホスピタリティ・トレーニング	10月27日(土) 13:00~15:00		
第3回	スポレク潜在力の再発見	11月3日(土) 10:00~12:00		
第4回	レクリエーション式体力チェックでカラダ・体力再発見	11月3日(土) 13:00~15:00		
第5回	スポーツを楽しむ施設を知ろう! 1	11月17日(土) 10:00~12:00		
	スポーツを楽しむ施設を知ろう! 2	11月17日(土) 13:00~16:00		
第6回	もしも……、を起こさない安全管理(危険予知)	11月24日(土) 10:30~12:00	あイトピア多目的ホール (豊橋市総合福祉センター)	
	もしも……、を起こさない安全管理(救命救急法)	11月24日(土) 13:00~16:00		
第7回	私たちに最適のスポーツ(スマートスポーツ)を楽しもう 1	12月1日(土) 10:00~12:00		飯村地区体育館 弥六公園
	私たちに最適のスポーツ(スマートスポーツ)を楽しもう 2	12月1日(土) 13:00~16:00		
第8回	わがまちの運動・スポーツ施策を学ぼう	12月15日(土) 10:00~12:00		あイトピア多目的ホール (豊橋市総合福祉センター)
第9回	スポーツ・レクリエーションイベントの企画・実施術	12月15日(土) 13:00~15:00		
第10回	卒業制作 スポーツ支援事業の企画①	12月15日(土) 15:00~16:00		
第11回	卒業制作 スポーツ支援事業の企画②	12月22日(土) 10:00~12:00		
第12回	審査会&お疲れ様パーティ	12月22日(土) 13:00~16:30		

会場の利用マナーで ホスピタリティを実践

講座開催にあたって一番不安だったのは、「団塊世代の男性が応募してくれるだろうか」ということで、最初は当協会役員の全員が開催を反対した。しかし、愛知県レクリエーション協会から熱心に勧められたこともあり、「実施するなら全力でやろう」と講座を引き受けることを決心した。

会場の選定では参加者が通いやすい場所を考え、豊橋駅から走っている路面電車で約15分、停車駅から

徒歩約5分の豊橋市総合福祉センター「あイトピア」に決めた。

社会福祉協議会の施設であるこの会場で午前10時から午後4時ごろまで活動するので、参加者には4つある駐車場のうち、なるべく施設から離れている駐車場を利用するようにお願いした。それは建物近くの駐車場は当施設を使用する福祉関係者の来場用に空けておくためであり、こういった配慮もホスピタリティの実践であるということに参加者にご理解いただくというねらいがあった。



タオルを使ったエクササイズでリフレッシュ

レク式体力チェックを学習中



企画用のポスターづくり



審査員に「いいね！」をあげてもらい判定

初回でコミュニケーションの基礎が固まった

参加者募集では、当協会の常任理事会はもちろん、チラシや「広報とよはし」、地元のFM放送などを通じて呼び掛けた。レクのイベントでチラシを配り、役員の関係する他の会でも参加対象者に声を掛け、夫のOB会でチラシを配ってもらうなど、草の根作戦を展開した。

その結果、顔なじみの人もいたが、初の参加者が大半を占め、最終的には49名に参加登録をいただいた(うち8割が出席し、スポーツ・レクリエーションサポーターに認定されたのは32名)。講座では、毎回色カードのくじでグループを決めて座席を設定し、知らない人同士での交流がスムーズにできるようながした。

第1回目のアイスブレイキングで和やかなムードが流れ、ホスピタリティ・トレーニングを経て話し合いや交流がスムーズにできるようになったので、次へつなげていく基礎ができたと思う。回を重ねてスマートスポーツを行うころには素晴らしいチームワークが生まれ、終盤の企画コンペのときには誰とでも話が弾むようになっている様子で、大変うれしく思った。

プレゼンは「いいね！」を掲げて楽しく評価

講座のスポーツ計画については豊橋市教育委員会教育部スポーツ課に、地元のスポーツ施設への説明などは豊橋市体育協会にご協力いただいた。愛知県レクリエーション協会の鯖戸善弘部長、豊橋消防署救急専門委員、豊橋レクリエーション協会役員など、各分野の専門家に講師を務めていただき、レク式体力チェック

は新潟県レクリエーション協会専務理事・事務局長の渡辺耕司先生、太極拳は、豊橋太極拳協会会長の中田直助先生にお願いした。

初参加の人もスポーツ・レクリエーションの楽しさを体験できたようで、実践的なよい企画を立てていただいたと思う。企画発表の際も評価の仕方が工夫されていて、(公財)日本レクリエーション協会関係者6名、自治体関係者6名、豊橋老人クラブ会長代行1名の合計13名に「いいね！」と描かれたうちわ2本を掲げていただく形で、楽しい審査をしていただいた。

継続的に活動できる体制へ支援したい

参加者からは「同窓会をしたい」「企画を実行したい」との声をいただいた。レクリエーションに初めて触れたという男性は「今まで地域社会を知らなすぎた。これからは情報を集めて、レクリエーション・インストラクターの資格取得講座も受けたい」とお話しされた。参加者の方には今回で終わらずに会を立ち上げてもらい、いずれ当協会の1部門(現在は全15部門)のスポーツ・レクリエーションサポーターとして活動していただきたいと考えている。

会場の「あいトピア」はスクリーンや音響機器などが完備されていて、とても進めやすかった。また運営では、担当者が愛知県レクリエーション協会、(公財)日本レクリエーション協会と密に連絡を取り合い、スタッフがそれぞれの得意分野において自主的に活動してくれたので、責任者としては大いに助かった。

開催前は大変だと考えていたが、やってよかったと思っている。今後も参加者の活躍を支援して、「参加してよかった」という声が増えることを期待している。